



日中英対訳論語を出版

日中国交正常化30周年記念

人間・自然・科学研究所（HNS研究所・代表：小松昭夫・小松電機社長）はこのたび、同書は原文と日本語訳のみ、日本語訳、現代中國語訳、英語訳で構成されている。総編集者は山東省曲阜市・孔子文化大学教授であり本紙編集主任の孔健が務めた。

8日には、フォーシーズンズホテル椿山荘（東京都文京区）で出版記念会と披露パーティーを開催する。元北京大学教授センターリー主任・張碧清氏

日中国交正常化30周年を記念し、日中英対訳「論語」＝写真＝を出版した。同書は原文と日本語訳のみ、日本語訳、現代中國語訳、英語訳で構成されている。総編集者は山東省曲阜市・孔子文化大学教授であり本紙編集主任の孔健が務めた。

同研究所は、「論語」の出版を通じて、恒久平和を生み出す新たな文化の創造をめざして運動を広めていきたい」としている。

同研究所は、「論語」へ100冊、中国・孔子基金會へ200冊寄贈、同会で贈呈式を行う。同書は希望者に5冊セット1万円で配布される。

の講演などのほか、HNS研究所が提案している「平和記念碑」建設事業への呼び掛けを行う。同研究所では今回出版した「論語」を日本政府へ100冊、中国・孔子基金會へ200冊寄贈、同会で贈呈式を行う。

「論語」、出版記念パーティーについての問い合わせはHNS研究所東京事務所TEL：03-5408-7518（担当・岩成）まで。